

名古屋女子大学 アセスメントポリシー

名古屋女子大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル、学部・学科レベル、科目レベルの3つの段階で学修成果を検証するための方針を定める。

- (1)機関レベルにおいて、建学の精神や大学の教育目的、学部・学科のディプロマポリシー（学生が身につけるべき知識や能力資質）に関する学修成果を把握し検証する。
- (2)学部・学科および科目レベルにおいては、直接評価および間接評価をもとに絶え間ない授業改善や教育課程の見直し、改善等に向けたPDCAサイクルに取り組み教育の質を保証する。
- (3)ルーブリックや学修ポートフォリオを活用することにより学生自身が学修成果を把握することで、学生自らのPDCAサイクルに取り組み、学生の成長を促す。
- (4)学修成果を可視化することにより、社会への説明責任を果たす。

1. 機関レベル

学生の志望進路（就職率、資格・免許を活かした専門領域へ就業率及び進学率等）から大学の教育目的やDPの達成状況を検証する。

方法：資格・免許取得状況、通算GPA、就職率/進学率、GPSアカデミック※、学修行動、卒業時アンケート、卒業生アンケート等

2. 学部・学科レベル

学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、卒業要件達成状況（単位取得状況・GPA）から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を検証する。また、学年・クラスごとの単位取得率・成績分布の状況から、学士力におけるジェネリックスキルズや態度・志向性についての獲得状況を学修成果として検証する。

方法：学部：学修ポートフォリオ、GPA、資格免許取得状況、単位取得状況、GPSアカデミック※、学修到達度・満足度、入学前教育（アンケート）等

(家政) 生活環境学科：PBL実施状況、資格免許取得対策状況、教職履修カルテ等

(健康) 健康栄養学科：基礎学力判定テスト（生物・化学）、管理栄養士国家試験対策状況、模擬試験、200問総合試験、オープンカレッジ受講状況、管理栄養士国家試験受験・合格者数等

(健康) 看護学科：留年者数(留年率)、模擬試験結果、看護技術習得度等

(文) 児童教育学科：教職履修カルテ、教員採用試験・公務員試験対策および受験・合否、統一基礎学力試験等

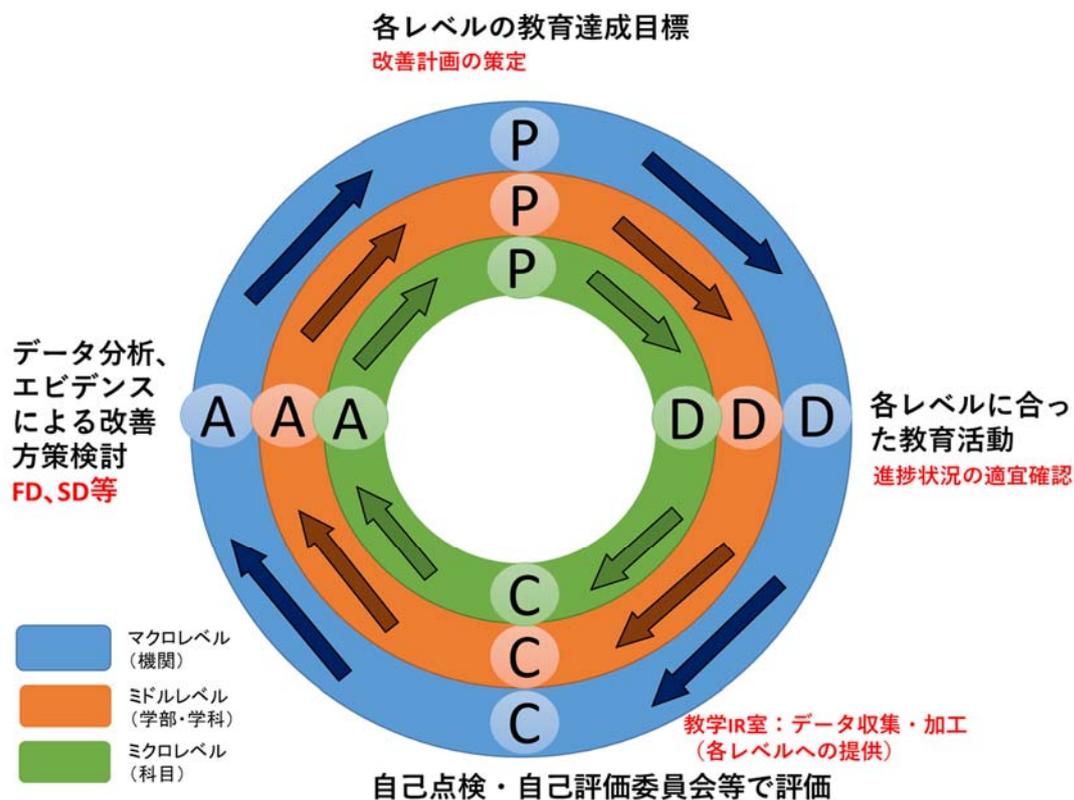
3. 科目レベル

シラバスで提示された授業等科目の学修目標に対する評価（ルーブリック等）、学生による授業評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を検証する。

方法：総括的評価ルーブリック、成績評価、学修ポートフォリオ、授業評価アンケート等

（通常書体文字は直接評価、斜体文字は間接評価を示す。ただし、※印は直接・間接の両方を含む）

名古屋女子大学の内部質保証 (PDCA)



※PDCA サイクルを回すにあたり、3つのポリシーそれぞれに必要な各種データを活用した評価検証をして改善計画を立てる。

※各レベルにおいて必要なデータを教学 IR (Institutional Research) 室へ申請する。

教学 IR 室は、申請に基づき審査・承認する。(必要なデータ加工を含む)

申請部署は、分析や改善結果および PDCA サイクル状況を教学 IR 室へ報告する。